

号外

# STK会報

発行所  
香川県善通寺市  
金蔵寺町 1298-1  
080-2990-6485

2013/03/31

小安協東

広報誌で紹介されました

岡山県東部地区小型船安全協会の広報誌に瀬戸内遊漁船釣り団体協議会の放流事業が掲載されました。

同協会はSTKの賛助会員として

今後は、小型船安全協会と協賛し、遊漁時における事故防止のみならず、放流活動を通じて瀬戸内の資源保全と培養を行う予定です。STK会員各自もライフジャケットの着用を始め『海難ゼロ』を目指した活動をお願いします。

てご協力を頂いております。また、STKも同協会の会員になっており各種行事には協力して行きます。

小安協東




## おかやま

岡山県東部地区小型船安全協会  
(岡山県東部地区小型船安全協会正会員)  
 (香川県東部地区小型船安全協会正会員)  
 (高松地区遊漁船釣り団体協議会賛助会員)  
 (瀬戸内遊漁船釣り団体協議会賛助会員)

海に出る時はライフジャケットを着よう！

岡山県東部地区小型船安全協会では、9種以上の遊漁船乗組員向けに、船中での救命活動として、また、(2)瀬戸内遊漁船安全協会の正会員の立場で、(3)瀬戸内遊漁船が乗組員へ「遊漁船への正しい乗船」を指導しています。



【平成24年7月16日野瀬にて】  
 【7月には、全国で遊漁船乗組員講習会を実施】  
 野瀬では、本館員における「遊漁船乗組員講習会」(遊漁船乗組員講習会)を実施し、(3)瀬戸内遊漁船乗組員講習会を開催しています。


海のもともは、118番!

STK (瀬戸内遊漁船釣り団体協議会) の活動について

平成24年6月1日同協議会の賛助会員となり、平成24年10月4日、宇野港周辺海域において、真鯛等の稚魚(約1,000匹)を放流事業に参加しました。

今後は、同協議会と協賛し、遊漁時における事故防止のみならず、当活動を通じて、瀬戸内海の活性化のため、稚魚の放流事業を行う予定です。

平成25年度において、放流事業計画が決まりましたらお知らせいたします。同事業にご理解とご協力をお願いします。(事務局より)



【宇野港周辺にて稚魚放流状況】



お世話に成りました




GYONES  
香川の大物釣り魚ギネス

香川県釣り団体協議会

香川県小型船安全協会に加盟  
 STKは同協会にSTK支部として加盟しております。同協会に入会される方はご相談下さいませ。  
 事務局電話(〇八〇)二九九〇—六四八五まで。

香川県釣り団体協議会に加盟  
 STKは協議会に加盟し各種行事に参画しております。  
 同協議会では香川県内に在住している人なら申請出来る『香川の大物釣り魚ギネス』の認定を行っております。認定されると認定書が1発行されます。(実費千円が必要)  
 詳しくは香川県釣り団体協議会事務局 電話(〇八七)八九八—九四六〇まで。

## S & SでSTKを紹介

月間フリーペーパーのS & Sにて岡山県東部地区小型船安全協会の尾崎満会長が瀬戸内遊漁船釣り団体協議会（STK）を紹介していただきました。

会の活動内容などを詳しく解説して頂いております。

また、一般のプレジャーボートの方も賛助会員として迎える組織で有る事もご紹介されております。

小豆島の漁場利用協定に向けた活動が前向きに動き出した昨今、プレジャーボートの方もどこかの団体に参加することが望まれます。

協定締結団体に所属すると協力の軽減が見込まれますので今回のご紹介はジャストタイムと言えるでしょう。

## 岡山・香川広域海面利用協議会より

平成12年から始まった岡山・香川広域海面利用協議会も今年で12回目となり、今年は香川県庁で開催されました。この会議は釣り人と漁業者の間のトラブルを少しでも解決して行こうと、両県の水産課が各地区の漁業協同組合の代表者や、海レクなどの関係者を委員に選び話し合うというものです。

この中では、漁業者にとっては海は畑、海レクにとっては海は公園なのでしょうが、レジャーで魚釣りを楽しむ人が多くなったことや、その釣り方が漁業者の生活を脅かしトラブルの原因となり、特に岡山のレジャー船が香川の海域に多く出かけて、非常にマナーが悪いと漁業者から指摘を受けています。では、漁業者の言うマナーとは何なのか？どうすればそのマナーを改善できるのか数例を紹介いたします。

魚の釣れる海域は集中していて、朝早くから夕方まで一日中釣り船が数十、いや数百と集まっていて、地元漁業者の漁場なのに一本釣りの漁業者などは近づけないし、邪魔なので避けるよう怒鳴られたりする。蛸壺や建網などの上にアンカーを打って、ひっかけて切られたりする。魚を必要以上に釣れるだけ釣って近所に配り歩くので魚の値段が通らない、釣針が網やロープに掛かっていて危険であるなどです。

一方レジャー釣りの人は、少々お金を払っても文句を言われず釣りを楽しみたいと言う人が大半ですが、漁業者からは「お金を払ったらいくらでも釣ることが出来る」という権利意識が生まれるのではないかと心配の声も聞かれます。

そこで、私たちは双方の代表者が集まって、どうすれば良いかとなったのですが、漁業者には組合があり話をまとめる事が出来ませんが、レジャーには組織が無いので、ルールやマナーについて話し合ったりまとめる事が出来ないのが現状です。まずはレジャーで釣りをする組織作りが必要ではないかと、小型船安全協会等に参加していただくのも一つの方法です。

今回初めて香川の遊漁船業者がまとまって会を発足させ、次いで岡山の遊漁船にも会に参加していただく動きが出てきました。この会は一般も受け入れる用意があるので、私たちもそこに参加して協力していけば良いのではないかと思います。紹介いたします。

## 瀬戸内遊漁船釣り団体協議会 (STK)

### 活動内容

1. 職業漁師との懇親ならびに県水産事業との相互理解を図る活動
2. 船釣りの普及・振興を図る活動
3. 環境の保全を図る活動
4. 子供の健全育成を図る活動
5. 資源保全と資源培養を図る活動
6. 全各号に掲げる活動を行なう団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助協力等

事務局 普通寺市金蔵寺1298-1 アオイ釣具 0877-63-3121  
香川県代表 恵優丸 福本 優 岡山県代表 城丸 城市 勉

岡山県では笠岡白石島海域に海洋牧場を整備し水産資源の増殖を行なっていますが、海洋牧場における水産資源の有効利用を促進し、漁業者と遊漁者との競合を防止するために利用のルールを策定する予定です。

また香川県ではローカルルールの確立のため、2ヵ所の海面利用モデル地区を定めて漁業者と遊漁者とのトラブルを減らして行く予定だそうです。

岡山県東部地区小型船安全協会  
会長 尾崎 満

